

高松市立前田小学校だより Tel 847-6562	なろう, なろう あすなろう あすはヒノキになろう	あす 羽 なろ 檜	2017年 6月1日(水) No. 113号
------------------------------	---------------------------------	--------------------	------------------------------

運動会へのご協力ありがとうございました  
 そして うれしいお知らせ

校長 岡 静子



心配されていた雨も上がり、青空が広がった5月15日(日)前田地区の運動会が予定通り実施できました。今年、雨の日が多くあまり練習する時間はなかったのですが、子どもたちは一生懸命練習に励んでくれました。入学して1ヶ月余りの1年生から学校生活最後の6年生まで、どの学年もとてよくがんばりました。学校の教育活動として運動会を行う国はそう多くありませんが、その目的は『運動の楽しさ』を味わうこと、『協力すること』や『最後まで頑張ること』の大切さを学ぶことです。心を一つにして前田っ子は力の限りゴールをめざして走ったり、団体目に取り組んだりしました。また、保護者の方々や地域の方々も心を一つにして種目に取り組み用具の準備や採点、審判などの係りをして下さいました。運動会が終わってからは、テントの片づけや力仕事、ゴミ拾いなどの清掃活動で多くの保護者の方々のご協力をいただきました。こうした皆様方に、心より感謝すると同時に、今後とも本校の教育活動へのご支援とご協力をお願いする次第です。嬉しいお知らせです。なんとなんと校庭内や運動場内にタバコの吸い殻はゼロです。そしてゴミもほとんどありませんでした。マナーの良い前田校区です。

もう一つ嬉しいお知らせ

体育館ステージの緞帳の汚れや破れがひどく式等でも目立っていたところですが、この度、伏見 正範様より引き分け幕スーパーステージと袖幕スーパーステージの緞帳一式をご寄付いただきました。これで整った環境の中で子どもたちが儀式や集会や「人権について考える会」を行うことができ、学校としても大変嬉しく思います。感謝とともに、子どもたちには愛校心や物を大切にすることを指導していきたいと思ひます。



前田っ子とともに

現職教育主任 高橋利恵子

今月は、自尊感情を高めるために前田小学校で取り組んでいることを紹介いたします。

子どもたちの自尊感情を高めるためには、自分との関わり、友だちとの関わり、集団との関わりの中で、「自分のよさ」「友だちのよさ」「集団のよさ」という3つのよさに気づかせることが必要です。たとえば、児童が学校生活や日々のくらしの中で、がんばって何か願いを実現させたという体験をします。その体験から自身の成長を自覚できれば、自分を高めることの喜びやすばらしさを実感できます。また、友だちと関わる中で、友だちのよさを知り、自分との違いを認めることができれば、それは自分自身を大切にすることにつながります。さらに、友だちや学校集団の中で役割を果たして達成感を感じたり、感謝されたりする経験を重ねることで、自分は必要とされる存在であることが実感できるようになります。これら三つのことを大切にすることで前田小学校では子どもたちの自尊感情を高めていこうとしています。

そのために授業の中で私たち教師が心がけていることは、「分かる授業をすること」「友だちを大切にするために友だちの話をしっかり聞かせること」です。児童会活動では、周りのみんなから感謝される機会をたくさん持たせられるようにボランティアにも取り組ませていきたいと考えています。まずは「お掃除ボランティア」「あいさつボランティア」や「水やりボランティア」などのアイデアがでてきています。ご家庭でもお子様の話をしっかり聞くことや「ありがとう」の言葉をたくさんかけることを意識されてみてはいかがでしょうか。



次回も引き続いて前田小学校の取り組みをご紹介したいと思います。

# 生徒指導だより

生徒指導主事 黒田 良治

## 生活づくり(1) みんな「早寝・早起き・朝ご飯」そして睡眠

ここ数年、前田小学校では「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に児童の食事と生活リズムの確立をめざして保護者の皆様のご協力をいただいています。この生活リズムの確立が規範意識を確立させ、学力の向上に繋がってくるのです。今回も、生徒指導だよりで「生活づくり」の大切さについてのお話をさせていただきます。

### 「食事は、生活づくりの源」「学力向上の最大の敵は睡眠不足」

食事の重要性は、近年さまざまな場でも取り上げられています。3度の食事をきちんと取り、生活リズムを整えることで学習の効果は向上してくると考えられています。その中で驚くべきことは、東京都のH氏が食事の品目と学校での成績との相関関係を調べてみると、もの見事にたくさんの食品をバランスよく食べているほど学習成績がよいという結果まで出ています。

また、広島県教育委員会の調査で学力と睡眠との相関関係が確認されています。

教科	睡眠	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	以上
国語		5 2	6 2	6 6	7 0	7 1	7 0	6 5
算数		5 3	6 4	7 0	7 4	7 4	7 4	6 5

これらのことから、生活習慣の崩れが日本の子どもたちの様子をおかしくしていると考えられます。

参考文献 「学力の基礎は読み書き計算にある」 陰山英男 著

子どもも大人もなぜキレル — 現代型栄養失調を治すすべ — 大沢 博 著

## 人権教育シリーズ④ 「そっとしておけば・・・」でいいの？

児童・進路支援担当 入谷 祐司

同和問題について話していると「行政や学校が同和問題を取り上げるからいつまでも解決しない」という考え方をする方がいます。そっとしておけば自然と同和問題はなくなる、いわゆる「寝た子を起こすな」という考え方です。しかし、よく考えてみるとこの考え方にはいくつかの問題点があります。まず、子どもたちが、同和問題についていっさい知らずに育つのは無理です。なぜなら、行政や学校で同和問題について取り上げなくても「家庭」や「地域」、「友だち」などそれ以外のところで話を聞くことが多いからです。2007年8月に実施した高松市の意識調査でも、45.8%の人が学校や行政以外から同和問題について知ったと回答しています。そしてその内容には、誤解や偏見につながるものが含まれていることがあります。

また、この考え方だともし差別にあったとしても黙っておかなくてはなりません。人権を侵害された人に「声を上げるな」「我慢しろ」というのは変だと思いませんか？

子どもたちが将来差別をしたりされたりするような不幸なことが絶対にあってはなりません。そのために、私たちは、同和問題について正しく理解し、「寝た子を正しく起こす」ことが大切なのではないでしょうか。



## 教育相談だより

教育相談担当 三谷匡代

今回は、スクールカウンセラーの網千代美先生から、メッセージをいただいていますので、紹介させていただきます。

みなさん、こんにちは。今年度も前田小学校に来るようになりました。スクールカウンセラーの網です。

今年度で7年目になりますので、授業中クラスを回って行った時に会ったことがあると思います。これからも、クラスを回って、みなさんの授業の様子などを見させていただきますので、よろしくお願いします。

私と個別に話をしたい人は、教育相談担当の三谷先生や担任の先生に予約してくださいね。お待ちしております。



スクールカウンセラー  
網 千代美

今回の網先生との教育相談は7月1日(金)です。